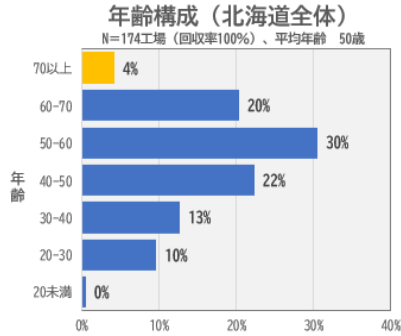
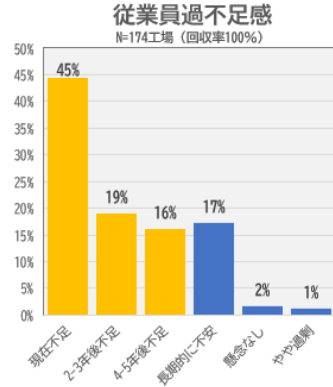


北海道生コンクリート工業組合
現状把握アンケート調査結果について
 2024年3月実施

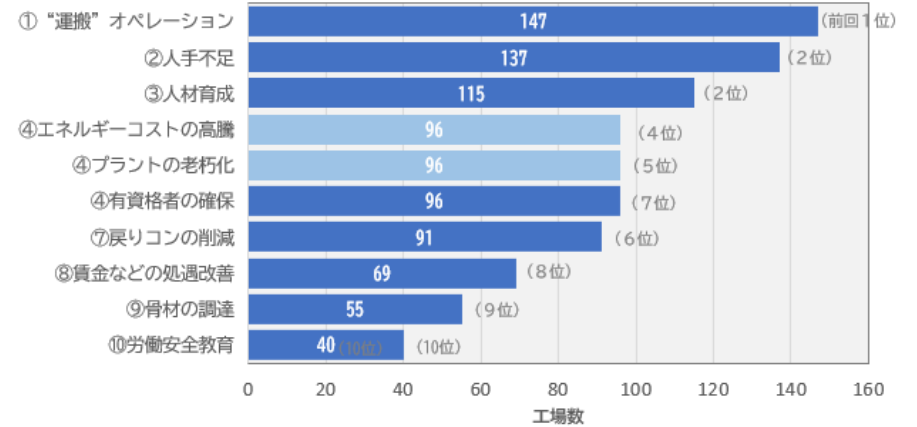


生コン工場従業員の平均年齢は **50歳** (49歳)
 60歳以上従事者は全体の **24%** (24%)
 最も高齢化が進んだ工場の平均年齢は **65歳** (65歳)
 一方、最も若い工場の平均年齢は **30歳** (29歳)
 従業員数が最も少ない工場の従業員数は **2名**で**2工場**
 (3名13工場) ()は前回調査

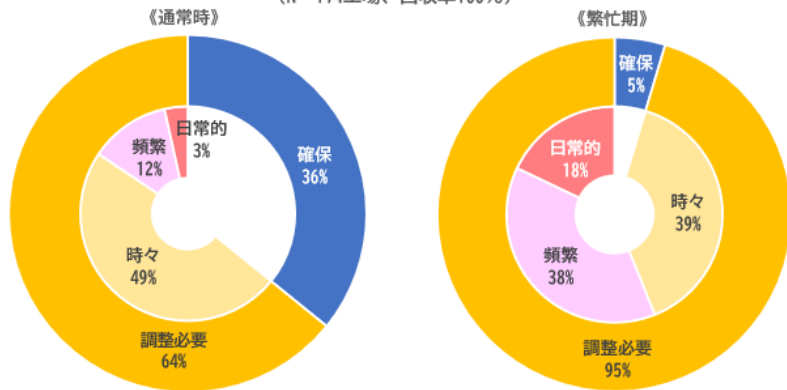


45% (46%) の工場が、現状において人手不足
 4~5年先まで含めると **80%** (81%) の工場が人手不足
 ()は前回調査

現状の課題ベスト10
 (N=174工場、回収率100%)



“運搬”オペレーションの現状
 (N=174工場、回収率100%)



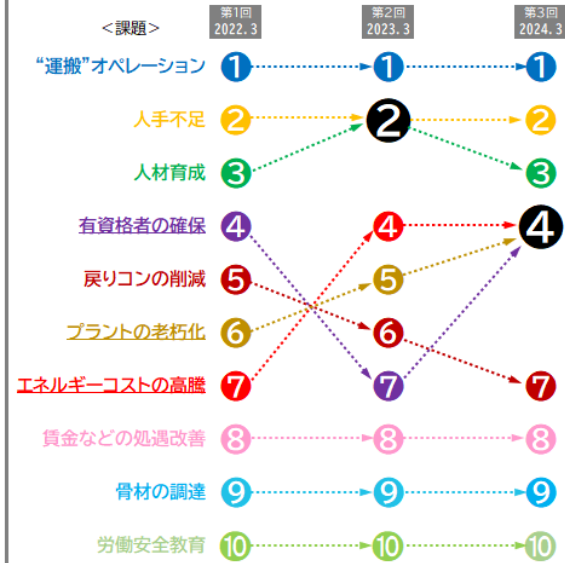
《通常時》
 ミキサー車の確保ができている工場は全体の **36%**
 (33%)
64% (67%) の工場はミキサー車不足のため施工業者
 との調整が必要な状況となるが、頻度は多くない。
 ()は前回調査

《繁忙期》
 ミキサー車の確保ができている工場は全体の **5%** (4%)
 のみ
95% (96%) の工場がミキサー車不足のため施工業者
 との調整の必要に迫られ、その頻度は **38%** (38%) の
 工場で頻繁化、**18%** (23%) の工場で日常化
 ()は前回調査

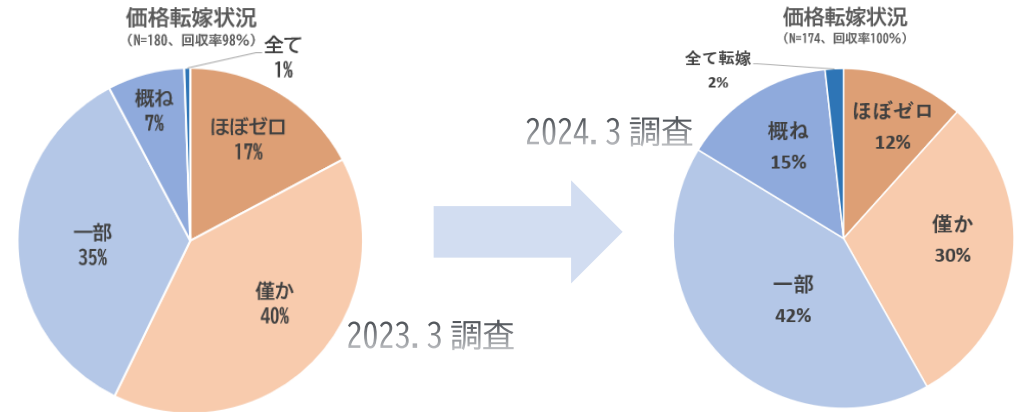
前回比較

① “運搬” オペレーション	147工場 (84%) が課題と認識。内訳は、ミキサー車の確保が118工場、ドライバーの確保が68工場。	145工場 😞
② 人手不足	137工場 (79%) が課題と認識。内訳は、新卒者の採用が105工場。経験者の中途採用が99工場。女性(技術職)の採用が20工場。	114工場 😞
③ 人材育成	115工場 (66%) が課題と認識。この内、8割の工場が人手不足を課題としており人材育成に影響を及ぼしていることが懸念される。	113工場 😞
④ エネルギーコストの高騰	96工場 (55%) が課題と認識。特に、電気を指摘する工場は49工場、軽油を指摘する工場が35工場。	113工場
④ プラントの老朽化	96工場 (55%) が老朽化したプラント設備の更新が課題と認識。	107工場
④ 有資格者の確保	96工場 (55%) が課題と認識。具体的には、コンクリート技士の確保が45工場、コンクリート主任技士の確保が81工場。 《参考》 技士在籍工場99%、主任技士在籍工場59%、診断士在籍工場11%	89工場 😞
⑦ 戻りコンの削減	91工場 (52%) が課題と認識。課題解決の取り組みとして戻りコンの有償化があるが、現時点において取り組む協組は23/27 (85%)。	105工場
⑧ 賃金などの処遇改善	69工場 (40%) が課題と認識。完全週休二日制を望む声あり。	84工場
⑨ 骨材の調達	55工場 (32%) が課題と認識。道央、道南が顕著。	56工場
⑩ 労働安全教育	40工場 (23%) が課題と認識。この内、8割の工場が人手不足を課題としており労働安全教育に影響を及ぼしていることが懸念される。	21工場 😞

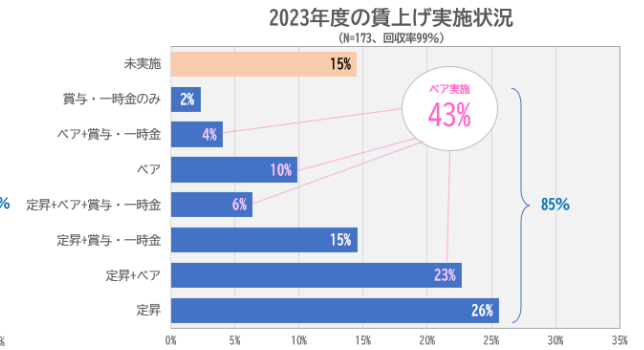
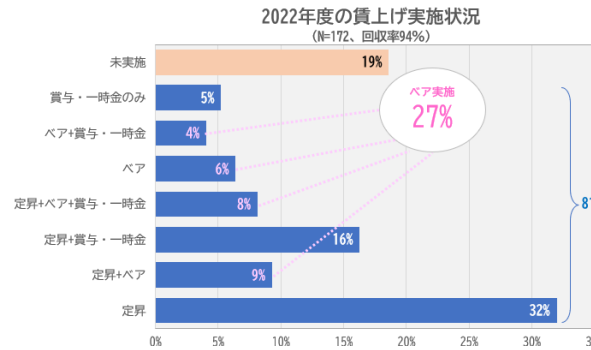
課題ベスト10 ランキングの変遷



“運搬オペレーション” “人手不足” “人材育成” がベスト3として定着（難易度の高い課題）
4位から7位は毎回入れ替わり
8位から10位は固定化



“ほぼゼロ” & “僅か” が57%から42%に減少し価格転嫁が進んでいることが伺える



何らかの賃上げがあったとの回答が81%から85%に増加
定昇のみとする回答が32%から26%に減少
一方、ベア、ベアを含む賃上げは27%から43%に増加